

あいおいニッセイ同和損保  
**教育・研究の質的向上等で連携**  
**関西大学商学部と協定**



調印式の様子

あいおいニッセイ同和損保大阪支店は2月25日、関西大学商学部

と「関西大学商学部とあいおいニッセイ同和損害保険株式会社との連携に関する協定」を締結した。同日、

関西大学千里山キャンパス尚文館7階特別会議室で協定の調印式が行われ、関西大学商学部長から商学部長の西岡健一教授、あいおいニッセイ同和損保から常務執行役員の河上直人氏、大阪支店支店長の浅井宏昌氏が出席し、協定書に調印した。

協定は、両者の間で、教育・研究の質的向上、学生の実践的学びの充実および社会課題の解決に資する人材育成といった教育・実践機会の拡充を図るとともに、あいおいニッセイ同和損保の専門性とネットワークを活用して、学生のキャリア形成支援、共同研究、

実務知見の教育への反映、社会連携活動を推進することを目的としている。

協定の主な内容は、①教育連携・カリキュラム拡充②実務体験・インターンシップ支援③共同研究・課題解決型プロジェクトの推進④社会連携活動の拡充の4点。

①では、商学部が提供する体系的な教育プログラム、特に金融に関する深い専門知識と実践力を育むことを目的とした「ファイナンス特別プログラム(FSP)」で、保険・リスクマネジメントの分野での実務知見やケース素材の提供を検討する。

②では、あいおいニッセイ同和損保によるFSP履修学生を対象とした実践的なインターンシップ受け入れ機会の提供など、保険・金融業界での実践的就業体験を促進する。

③では、産学連携プロジェクトや共同研究を推進し、企業が抱える実践的な課題を教育・研究に取り入れるとともに、リスクマネジメントや保険市場分析、リスクファイナンス、災害リスク評価、保険数理的アプローチなどをテーマとする共同研究を推進する。

④では、教育・研究活動を通じて得られた知見を社会へ還元するため、地域や社会に向けたセミナー、シンポジウムなどの共同開催を通じ、金融リテラシー向上やリスク理解の促進に貢献する。

協定締結を受けて、河上常務執行役員は「弊社は1月末現在で27の大学と協定を交わし、各大学の知見と当社のデータや取引先とのマッチングや資本業務提携を交わしている。本協定はゴールではなく、新たな取り組みのスタートであり、今後の産学連携のモデルケースに発展させていきたい」とコメントした。関西大学の西岡教授は「今回の提携は、金融業界を将来のキャリアと考える学生が多い商学部にとって、新しいプログラム(FSP)を発展させる大きな一歩と考えている。サステナビリティ(持続可能性)ということで、環境、災害とビジネスの両立が求められるつつある状況を考える」と、この協定は教育だけでなく、新しい研究分野としても今後の発展を期待している」と述べた。